

移住交流支援センターだより



地域おこし協力隊
橋本 泰子
グリーンバレーが取り
組む移住交流支援
事業について、詳し
くお伝えします。

サテライトオフィス(SO)

第1号 Sansan株式会社

■神山にSOを構えたのはどうして?

代表の寺田親弘氏がシリコンバレー駐在の際に柔軟で融通の利く働き方をしているエンジニア達に出会った経験と、神山に繋がりのある人との出会いから、町内の築70年の古民家を利用したSO「神山ラボ」を2010年に開設しました。職住接近の働きやすさと、静かで集中できる環境を提供することで、社員のクリエイティビティを高めることを目的としています。

■神山ではどんな風に過ごしているの?

企画開発や営業活動など、数名の社員がチームを組み、期間を決めて神山で滞在しています。また、神山での滞在中、森作りや祭事など、地域活動にも参加し、今年4月には同社の新入研修として、新入社員自ら臨時講師となり神領小学校の5・6年生のクラスで「イノベーション」について授業を行うなど、様々な形で地域と関わりながら過ごしています。



▲未来の傘について発表する児童

た、教えて、来てほしい」などの感想を臨時講師とになった社員のみなさんに伝えていました。

神領小学校での課外授業

テーマは「イノベーション」

「イノベーション」とは?をテーマに行われた神領小学校での授業。5年生の授業のテーマは、『イノベーション』を探してみよう! (未来のカタチを考えよう)。6年生の授業のテーマは「未来の傘を考えよう!」でした。

短い期間で形を変えてきたもの、そして長い期間を経ても形の変わらないものがある中で、こどもたちが思う「イノベーション」企画を一緒に考えました。

授業では子供たちの面白く豊かな発想が次々と発表され、まさに「イノベーション」を予感させる時間となりました。

授業に参加した児童らは、「何か新しいことを考えるのは楽しかった」「自分たちが描いた絵で未来が出来たらいいなと思いました」「また、

■社員からひとこと



Sansan 株式会社
あきのぶ
中西見信さん

短期滞在中のサテライトオフィス Sansanとしては珍しく、昨年の冬から春にかけて神山に中期滞在を行っておりました。

神山により長く居たいという思いを持った矢先、社内の体制の変更があり、後ろ髪を引かれつつ本社に戻ったことを覚えております。

神山での生活を振り返れば、地域の方々、移住者の方々にお世話になりっぱなしで、慣れない生活の中で、ここまでして頂けるのかと感謝するばかりの日々でした。神山では当たり前のようになささんが行っている事が、都会では失われているのだなど肌で感じた時、私の今後の行動に大きく変化を与えてくれました。

また戻りたいと思える場所、そこを支える人、この繋がりができたことこそが神山で得た一番の収穫です。



【会社概要】

Sansan株式会社
・本社所在地 東京
・SO所在地 神領青井夫
・業務内容 これまで個人の手元で管理されてきた「名刺」に書かれている情報をデータ化し、営業強化・顧客管理・マーケティングに活用。世界でも類のないビジネスモデルとして国内外で大きな注目を集めている。
・URL <http://www.sansan.com/>
※イノベーションとは「革新」という意味。今回の授業の中では「みんながやっていたもの」と紹介されていました。